

環 境 委 員 会 資 料
令 和 6 年 7 月 25 日

所管事務の調査(報告)

- ・ 令和5年度 川崎市下水道事業会計決算の概況について
- ・ 令和5年度 川崎市水道事業会計決算の概況について
- ・ 令和5年度 川崎市工業用水道事業会計決算の概況について

上 下 水 道 局

(1) 総括事項

【事業面】

- ・令和元年東日本台風を踏まえた浸水への対策や大規模地震発生時においても下水道機能を損なわないための地震対策等、下水道が抱える課題を解決するための様々な取組を実施

【財政面】

- ・予算対比で下水道使用料等の減により減収となったものの、動力費等が減となったことから、当年度純利益は増加
- ・単年度資金については、資金不足

(2) 業務の状況

処理面積	処理人口	人口普及率
1万723ha	154万1,588人	99.5%
有収水量	下水道使用料（税抜額）	
1億5,139万5,502m ³	219億2,974万7,260円	

(3) 建設及び改良工事

【建設改良費の決算額】

- ・前年度からの繰越事業費を加えて、233億4,125万1,196円
- ・令和6年度への繰越額は、131億円

【主な建設改良工事】

<管 き ょ>

- ・浸水リスクの高い三沢川地区等で浸水被害軽減に向けた浸水対策工事を施行
- ・令和元年東日本台風による浸水被害を踏まえた対策工事を施行
- ・重要な管きよのうち、避難所や重要な医療機関と水処理センターとを結ぶ管きよの地震対策工事を施行

<ポ ンプ 場>

- ・老朽化の進む大師河原ポンプ場の再構築に向けた建設工事を施行
- ・各ポンプ場で老朽化した設備の更新工事を施行

<水処理センター>

- ・等々力水処理センターで高度処理化に向けた建設工事を施行
- ・各水処理センターで老朽化した設備の更新工事を施行

(1) 予算執行状況

ア 収入

(単位 円：税込額)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 △ 減	執行率
収益的収入	45,856,551,000	44,105,202,749	△ 1,751,348,251	96.2%
資本的収入	47,207,814,000	33,470,477,461	△ 13,737,336,539	70.9%
合 計	93,064,365,000	77,575,680,210	△ 15,488,684,790	83.4%

イ 支出

(単位 円：税込額)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 △ 減	執行率
収益的支出	44,413,622,000	40,103,209,109	△ 4,310,412,891	90.3%
資本的支出	71,191,615,600	57,114,902,575	△ 14,076,713,025	80.2%
合 計	115,605,237,600	97,218,111,684	△ 18,387,125,916	84.1%

(2) 収支状況

ア 収益的収支

(単位 円：税込額)

区 分	収 入	支 出	収支差引
収益的収支	44,105,202,749	40,103,209,109	4,001,993,640

収益的収支差額（税抜額） = 当年度純利益（△純損失） 2,635,673,143 円

イ 資本的収支

(単位 円：税込額)

区 分	収 入	支 出	収支差引
資本的収支	33,470,477,461	57,114,902,575	△ 23,644,425,114

資本的収入額が資本的支出額に不足する額 23,644,425,114円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 1,364,413,895円、減債積立金 2,068,000,879円、過年度分及び当年度分損益勘定留保資金 20,212,010,340円で補填した。

(3) 資金過不足額

ア 令和5年度単年度資金過不足額

(単位 円)

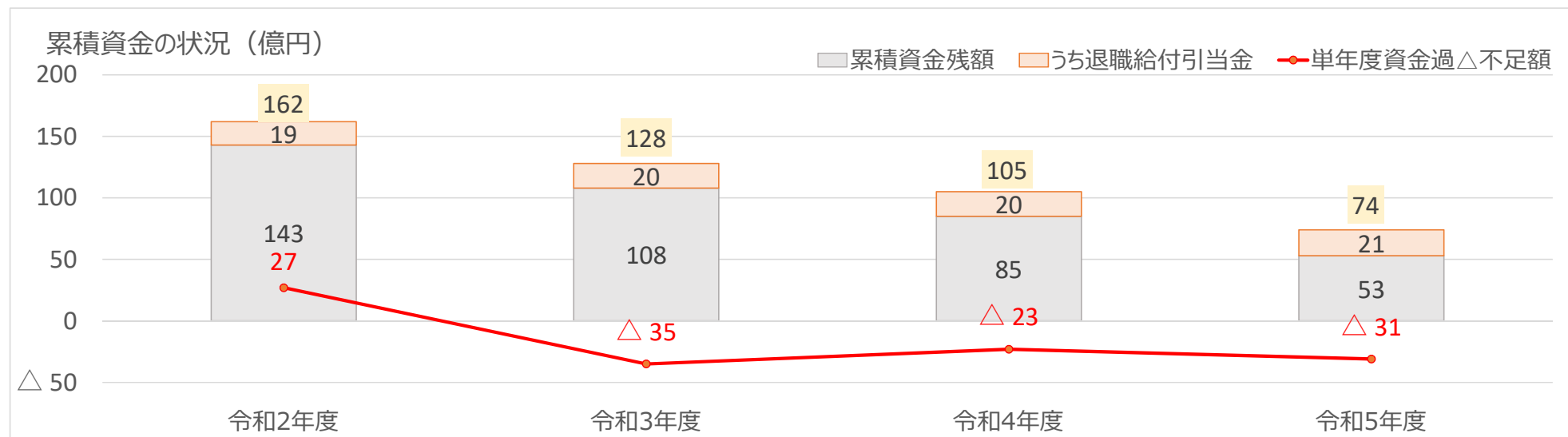
区 分	金額	備考
A 当年度純利益 (△純損失)	2,635,673,143	【補填財源の内訳】 ・当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 1,364,413,895 ・当年度分損益勘定留保資金 16,422,036,297 減価償却費 23,519,908,088 固定資産除却費 265,991,358 長期前受金戻入 △ 7,328,948,071 その他非現金 △ 34,915,078 ・退職給付引当金増減額 129,630,610
B 資本的収支差額	△ 23,644,425,114	
C 補填財源等	17,916,080,802	
A+B+C 単年度資金残額 (△資金不足額)	△ 3,092,671,169	

イ 累積資金過不足額

(単位 円)

区 分	令和4年度末資金残額	令和5年度単年度資金残額 (△資金不足額)	令和5年度末資金残額※
(うち退職給付引当金)	(1,985,702,433)	(129,630,610)	(2,115,333,043)
資 金	10,486,190,918	△ 3,092,671,169	7,393,519,749

※退職給付引当金を除く資金残額については、令和6年度以降の元金償還金等に充てる予定である。



※端数処理の関係から、合計額と内訳が一致しない場合があります。

(4) 経営成績

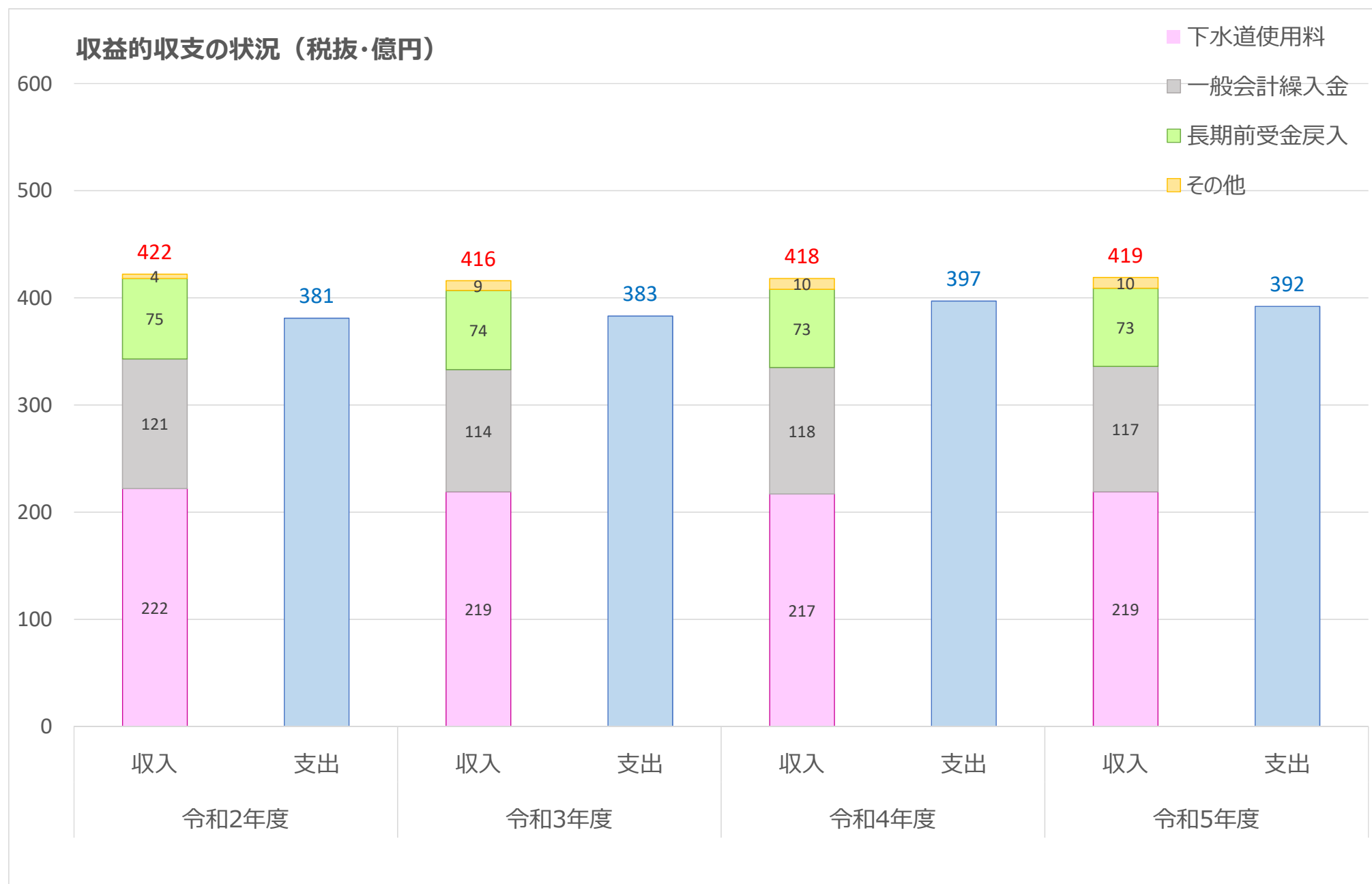
(単位 円：税抜額)

科 目	金 額	科 目	金 額
営 業 費 用	37,123,953,430	営 業 収 益	33,284,018,121
営 業 外 費 用	2,125,668,080	営 業 外 収 益	7,937,290,244
特 別 損 失	138,737	特 別 利 益	664,125,025
総 費 用	39,249,760,247	総 収 益	41,885,433,390
当 年 度 純 利 益	2,635,673,143	当 年 度 純 損 失	－
前年度繰越利益剰余金	0	前 年 度 繰 越 欠 損 金	－
そ の 他 未 処 分 利 益 剰 余 金 変 動 額	2,068,000,879		
当年度未処分利益剰余金	4,703,674,022	当 年 度 未 処 理 欠 損 金	－

※当年度未処分利益剰余金のうち、現金預金の裏付けのない使用後の減債積立金分 2,068,000,879円は、令和6年度に資本金に組み入れる予定である。

(5) 財政健全化法における資金不足比率の状況

会 計 名	資金不足比率	経営健全化基準
下水道事業会計	資金不足となっていない －	20%



※端数処理の関係から、合計額と内訳が一致しない場合があります。

項 目 \ 年 度	令和5年度	令和4年度	増 △ 減 (%)
総人口 (人)	1,548,254	1,541,640	6,614 (0.4)
処理人口 (人)	1,541,588	1,534,852	6,736 (0.4)
人口普及率 (%)	99.5	99.5	0.0 P (-)
処理面積 (ha)	10,723	10,721	2 (0.0)
排水区域面積 (ha)	10,723	10,721	2 (0.0)
水洗化対策件数 (件)	775,659	764,292	11,367 (1.5)
水洗化件数 (件)	773,431	762,063	11,368 (1.5)
水洗化助成件数 (件)	15	24	△ 9 (△ 37.5)
年間処理水量 (m³)	196,298,703	199,360,408	△ 3,061,705 (△ 1.5)
1 日平均処理水量 (m³/日)	536,335	546,193	△ 9,858 (△ 1.8)
年間有収水量 (m³)	151,395,502	151,637,201	△ 241,699 (△ 0.2)
管きょ延長 (m)	3,162,413	3,158,220	4,193 (0.1)
下水道使用料 (円：税抜額)	21,929,747,260	21,682,839,258	246,908,002 (1.1)

(1) 総括事項

【水 需 要】

- ・家事用等の使用量が減少となったため、水需要全体としては減少

【事 業 面】

- ・大規模地震を踏まえた基幹施設や老朽化した管路の更新、耐震化を推進
- ・小・中学校等への開設不要型の応急給水拠点を整備

【財 政 面】

- ・予算対比で給水収益等の減により減収となったものの、動力費等が減となったことから、当年度純利益は増加
- ・単年度資金については、資金不足

(2) 業務の状況

給水人口	給水栓数	普及率
154万8,226人	91万3,226栓	ほぼ100%
年間配水量	1 日最大配水量	水道料金収入（税抜額）
1億8,029万4,900m ³	令和5年7月2日 52万900m ³	242億5,513万2,276円

(3) 建設及び改良工事

【建設改良費の決算額】

- ・前年度からの繰越事業費を加えて、147億4,845万1,769円
- ・令和6年度への繰越額は、41億4,738万8,781円

【主な建設改良工事】

＜配水施設費＞

- ・大規模地震を踏まえた基幹施設や老朽化した管路の更新、耐震化を図るため、黒川配水池千代ヶ丘送水ポンプ施設整備工事等を施行

＜耐震管路等整備事業費＞

- ・老朽化した管路の更新や耐震化を図るため、配水管布設替工事等を施行

(1) 予算執行状況

ア 収入

(単位 円：税込額)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 △ 減	執行率
収益的収入	35,224,428,000	34,645,228,956	△ 579,199,044	98.4%
資本的収入	8,378,392,000	6,705,914,407	△ 1,672,477,593	80.0%
合 計	43,602,820,000	41,351,143,363	△ 2,251,676,637	94.8%

イ 支出

(単位 円：税込額)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 △ 減	執行率
収益的支出	33,743,361,000	31,973,800,678	△ 1,769,560,322	94.8%
資本的支出	23,177,128,761	18,240,131,042	△ 4,936,997,719	78.7%
合 計	56,920,489,761	50,213,931,720	△ 6,706,558,041	88.2%

(2) 収支状況

ア 収益的収支

(単位 円：税込額)

区 分	収 入	支 出	収支差引
収益的収支	34,645,228,956	31,973,800,678	2,671,428,278

収益的収支差額（税抜額） = 当年度純利益（△純損失） 1,391,149,907 円

イ 資本的収支

(単位 円：税込額)

区 分	収 入	支 出	収支差引
資本的収支	6,705,914,407	18,240,131,042	△ 11,534,216,635

資本的収入額が資本的支出額に不足する額 11,534,216,635円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 1,161,732,919円、減債積立金 1,097,664,044円及び過年度分損益勘定留保資金 9,274,819,672円で補填した。

(3) 資金過不足額

ア 令和5年度単年度資金過不足額

(単位 円)

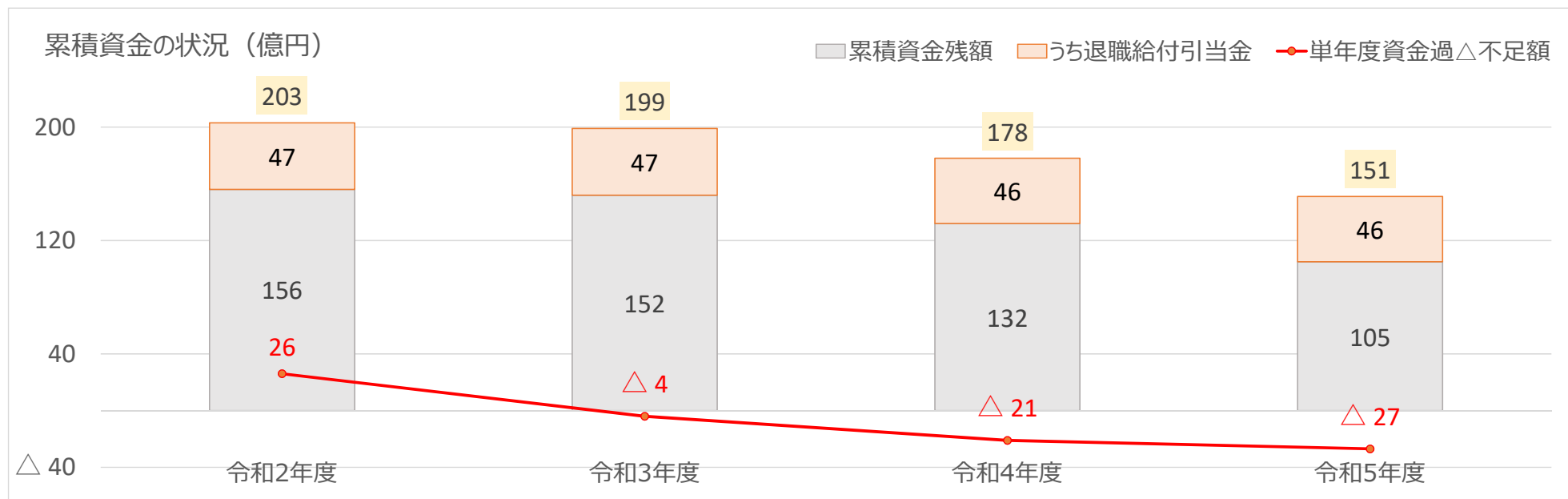
区 分	金額	備考
A 当年度純利益 (△純損失)	1,391,149,907	【補填財源の内訳】 ・当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 1,161,732,919 ・当年度分損益勘定留保資金 6,298,321,117 減価償却費 6,684,653,204 固定資産除却費 352,915,388 長期前受金戻入等 △ 739,247,475 ・退職給付引当金増減額 △ 9,122,420
B 資本的収支差額	△ 11,534,216,635	
C 補填財源等	7,450,931,616	
A+B+C 単年度資金残額 (△資金不足額)	△ 2,692,135,112	

イ 累積資金過不足額

(単位 円)

区 分	令和4年度末資金残額	令和5年度単年度資金残額 (△資金不足額)	令和5年度末資金残額※
(うち退職給付引当金) 資 金	(4,605,621,340) 17,830,432,016	(△ 9,122,420) △ 2,692,135,112	(4,596,498,920) 15,138,296,904

※退職給付引当金を除く資金残額については、令和6年度以降の元金償還金に充てる予定である。



※端数処理の関係から、合計額と内訳が一致しない場合があります。

(4) 経営成績

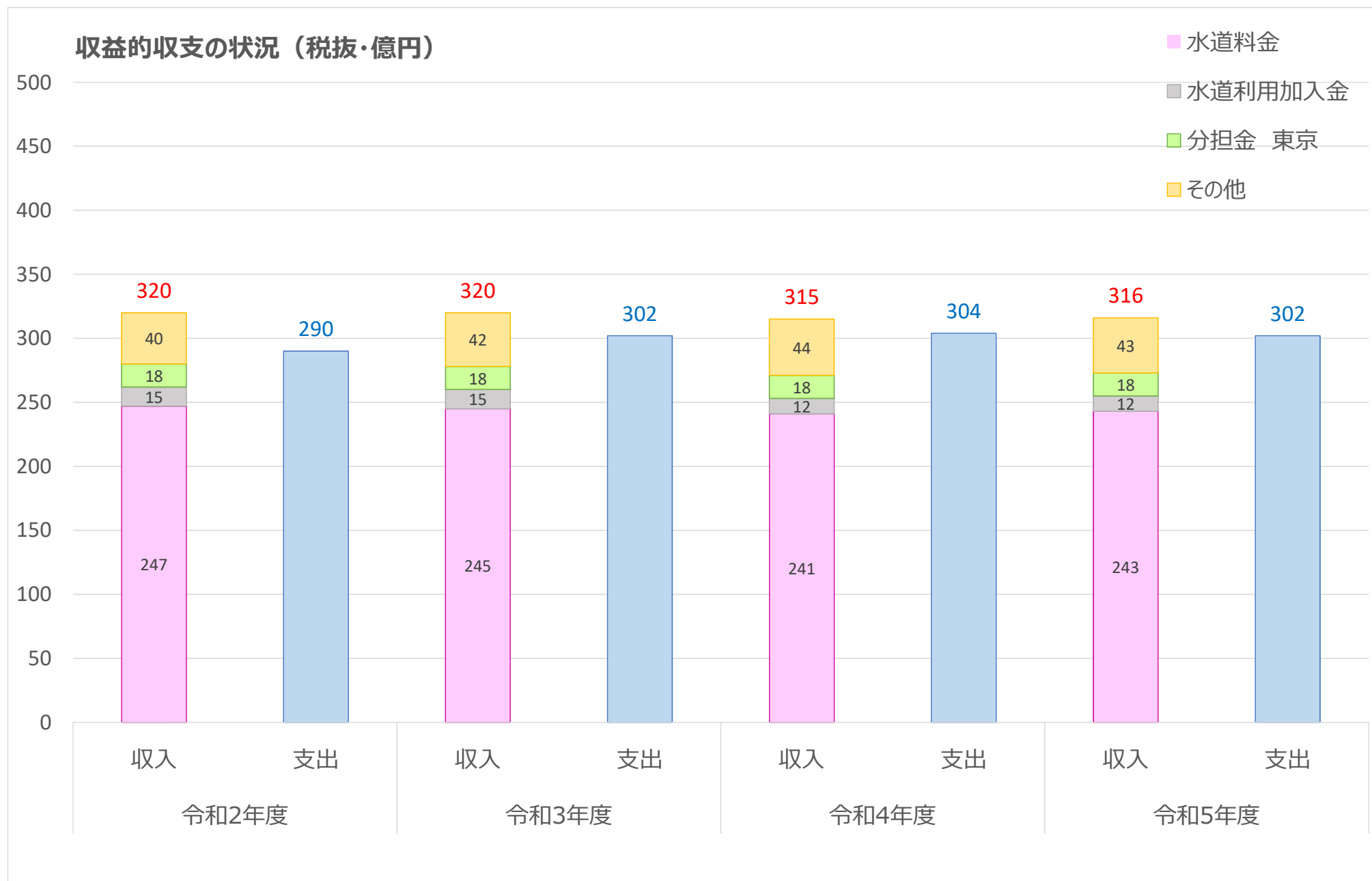
(単位 円：税抜額)

科 目	金 額	科 目	金 額
営 業 費 用	29,269,820,264	営 業 収 益	28,385,392,268
営 業 外 費 用	932,177,090	営 業 外 収 益	3,172,051,655
特 別 損 失	11,480,743	特 別 利 益	47,184,081
総 費 用	30,213,478,097	総 収 益	31,604,628,004
当 年 度 純 利 益	1,391,149,907	当 年 度 純 損 失	－
前年度繰越利益剰余金	0	前 年 度 繰 越 欠 損 金	－
そ の 他 未 処 分 利 益 剰 余 金 変 動 額	1,097,664,044		
当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金 ※	2,488,813,951	当 年 度 未 処 理 欠 損 金	－

※当年度未処分利益剰余金のうち、現金預金の裏付けのない使用後の減債積立金分 1,097,664,044円は、令和6年度に資本金に組み入れる予定である。

(5) 財政健全化法における資金不足比率の状況

会 計 名	資金不足比率	経営健全化基準
水道事業会計	資金不足となっていない －	20%



※端数処理の関係から、合計額と内訳が一致しない場合があります。

項 目 \ 年 度	令和5年度	令和4年度	増 △ 減 (%)
給水人口 (人)	1,548,226	1,541,612	6,614 (0.4)
給水栓数 (栓)	913,226	904,556	8,670 (1.0)
普及率 (%)	99.99	99.99	0.00 P (-)
年間配水量 (m³)	180,294,900	180,471,300	△ 176,400 (△ 0.1)
1 日最大配水量 (m³/日)	(7/2) 520,900	(6/25) 522,800	△ 1,900 (△ 0.4)
1 日平均配水量 (m³/日)	492,609	494,442	△ 1,833 (△ 0.4)
年間有収水量 (m³)	168,510,326	168,744,740	△ 234,414 (△ 0.1)
1 日平均有収水量 (m³/日)	460,411	462,314	△ 1,903 (△ 0.4)
有収率 (%)	93.5	93.5	0.00 P (-)
配水管の延長 (m)	2,426,738	2,422,332	4,406 (0.2)
水道料金収入 (円 : 税抜額)	24,255,132,276	24,120,624,302	134,507,974 (0.6)

(1) 総括事項

【水 需 要】

・産業構造の変化や省資源対策による回収水の再利用等の影響を受け減少

【事 業 面】

・施設の浸水対策や老朽化した管路の更新等を実施

【財 政 面】

・予算対比で給水収益等の減により減収となったものの、動力費等が減となったことから、当年度純利益は増加
・単年度資金については、資金残額を計上

(2) 業務の状況

契約会社・工場数	1日当たりの契約水量	年間契約水量
57社 77工場	51万5,220m ³	1億8,857万520m ³
年間使用水量	水道料金収入（税抜額）	
1億2,887万3,637m ³	68億5,609万7,454円	

(3) 建設及び改良工事

【建設改良費の決算額】

・前年度からの繰越事業費を加えて、16億8,965万1,756円
・令和6年度への繰越額は、7億7,429万8,687円

【主な建設改良工事】

＜配水施設費＞

・将来の工業用水の安定供給に向けて、水江町700mm－150mm配水管及び工水3号配水支管800mm－200mm布設替工事等を施行

＜その他の建設改良費＞

・長沢浄水場排水処理排水池更新及び排泥池耐震補強工事等を施行

(1) 予算執行状況

ア 収入

(単位 円：税込額)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 △ 減	執行率
収益的収入	7,894,551,000	7,763,858,111	△ 130,692,889	98.3%
資本的収入	1,753,136,727	924,546,176	△ 828,590,551	52.7%
合 計	9,647,687,727	8,688,404,287	△ 959,283,440	90.1%

イ 支出

(単位 円：税込額)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 △ 減	執行率
収益的支出	7,668,431,000	7,079,874,916	△ 588,556,084	92.3%
資本的支出	3,911,569,768	2,309,368,116	△ 1,602,201,652	59.0%
合 計	11,580,000,768	9,389,243,032	△ 2,190,757,736	81.1%

(2) 収支状況

ア 収益的収支

(単位 円：税込額)

区 分	収 入	支 出	収支差引
収益的収支	7,763,858,111	7,079,874,916	683,983,195

収益的収支差額（税抜額） = 当年度純利益（△純損失） 536,491,192 円

イ 資本的収支

(単位 円：税込額)

区 分	収 入	支 出	収支差引
資本的収支	924,546,176	2,309,368,116	△ 1,384,821,940

資本的収入額が資本的支出額に不足する額 1,384,821,940円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 147,535,179円、減債積立金 619,716,360円及び過年度分損益勘定留保資金 617,570,401円で補填した。

(3) 資金過不足額

ア 令和5年度単年度資金過不足額

(単位 円)

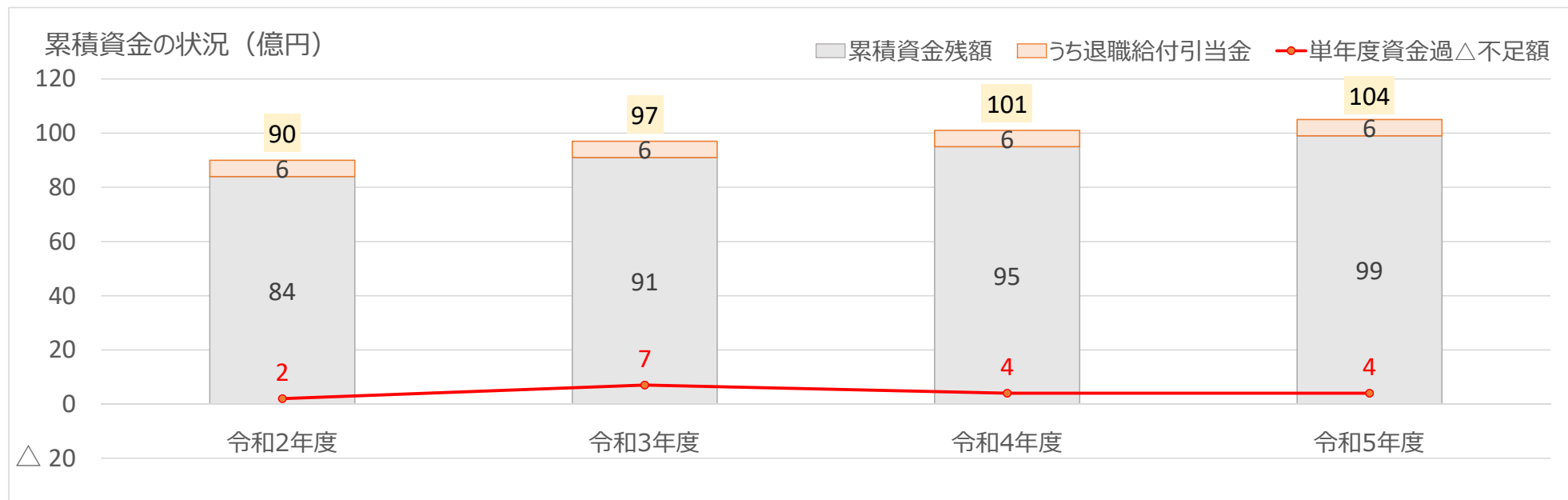
区 分	金額	備考
A 当年度純利益 (△純損失)	536,491,192	【補填財源の内訳】 ・当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 147,535,179 ・当年度分損益勘定留保資金 1,071,003,762 減価償却費 1,080,121,698 固定資産除却費 98,529,803 長期前受金戻入 △ 107,647,739 ・退職給付引当金増減額 △ 19,076,700
B 資本的収支差額	△ 1,384,821,940	
C 補填財源等	1,199,462,241	
A+B+C 単年度資金残額 (△資金不足額)	351,131,493	

イ 累積資金過不足額

(単位 円)

区 分	令和4年度末資金残額	令和5年度単年度資金残額 (△資金不足額)	令和5年度末資金残額※
(うち退職給付引当金) 資 金	(593,404,440) 10,094,755,963	(△ 19,076,700) 351,131,493	(574,327,740) 10,445,887,456

※退職給付引当金を除く資金残額については、令和6年度以降の元金償還金に充てる予定である。



※端数処理の関係から、合計額と内訳が一致しない場合があります。

(4) 経営成績

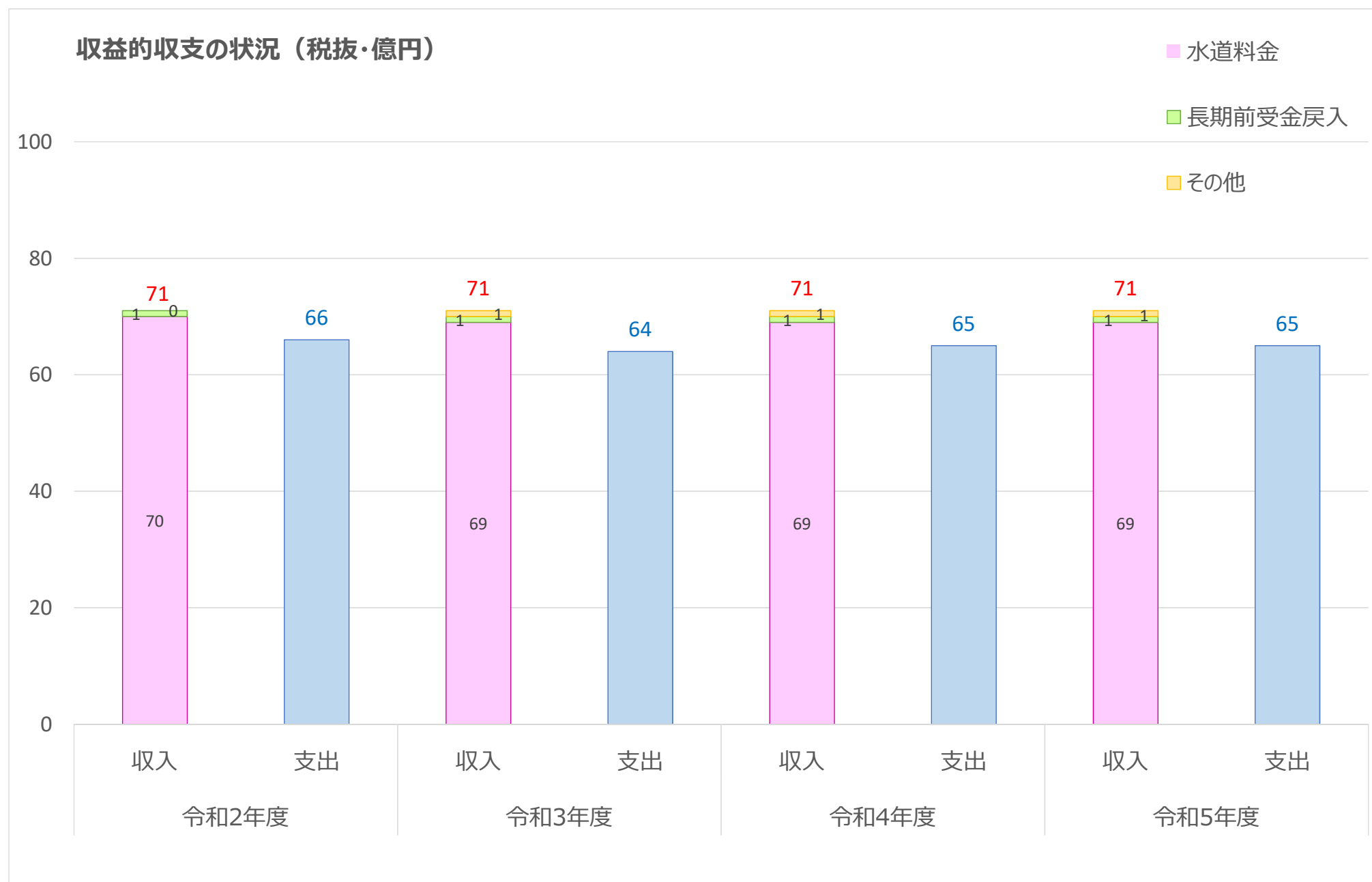
(単位 円：税抜額)

科 目	金 額	科 目	金 額
営 業 費 用	6,459,623,572	営 業 収 益	6,875,658,100
営 業 外 費 用	79,233,206	営 業 外 収 益	150,184,333
特 別 損 失	0	特 別 利 益	49,505,537
総 費 用	6,538,856,778	総 収 益	7,075,347,970
当 年 度 純 利 益	536,491,192	当 年 度 純 損 失	－
前年度繰越利益剰余金	0	前 年 度 繰 越 欠 損 金	－
そ の 他 未 処 分 利 益 剰 余 金 変 動 額	619,716,360		
当年度未処分利益剰余金	1,156,207,552	当 年 度 未 処 理 欠 損 金	－

※当年度未処分利益剰余金のうち、現金預金の裏付けのない使用後の減価積立金分 619,716,360円は、令和6年度に資本金に組み入れる予定である。

(5) 財政健全化法における資金不足比率の状況

会 計 名	資金不足比率	経営健全化基準
工業用水道事業会計	資金不足となっていない －	20%



※端数処理の関係から、合計額と内訳が一致しない場合があります。

項 目 \ 年 度	令和5年度	令和4年度	増 △ 減 (%)
年度末契約会社・工場数	57 社 77 工場	57 社 77 工場	0 社 0 工場 (0.0)
年間契約水量 (m³)	188,570,520	188,055,300	515,220 (0.3)
年度末1日当たり契約水量 (m³/日)	515,220	515,220	0 (0.0)
年間使用水量 (m³)	128,873,637	140,021,576	△ 11,147,939 (△ 8.0)
年間配水量 (m³)	130,403,800	141,496,400	△ 11,092,600 (△ 7.8)
1日最大配水量 (m³/日)	(9/5) 422,900	(8/2) 435,700	△ 12,800 (△ 2.9)
調定水量 (m³) ※	189,826,913	189,521,070	305,843 (0.2)
年間超過水量 (m³)	1,256,393	1,465,770	△ 209,377 (△ 14.3)
配水管の延長 (m)	43,198	43,420	△ 222 (△ 0.5)
水道料金収入 (円：税抜額)	6,856,097,454	6,876,157,945	△ 20,060,491 (△ 0.3)

※調定水量(m³)は、年間契約水量(m³)と年間超過水量(m³)の合計である。